

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日（主幹等）	31年3月31日
2次評価日（課長等）	31年3月31日

1 事業名	スポーツ推進委員活動支援事業	コード	113201
-------	----------------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 スポーツ振興課	作成者 小口 康生
--------	--------	------------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	文化・スポーツの振興	施 策	スポーツの振興
		予算科目	スポーツ推進委員事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	スポーツ基本法第32条		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	スポーツ推進委員が、各種スポーツ振興事業が円滑に行われるよう支援を行い、市民スポーツを推進する。		
目的	対象者	市民	
	意 図	市民スポーツの振興を図る。	

5 事業の実施内容	*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<p>○会議 スポーツ推進委員定例会・役員会（毎月）、諏訪地方代議員会（年間4回）、研修会（諏訪地方・県）</p> <p>○スポーツ活動支援 ・障がい者スポーツの推進事業（3回） ・ファミリースポーツプログラム等（年間5回） ・体カテスト（9月） ・ニュースポーツの普及指導（通年） ・いきいき高齢者スポーツ推進事業（総合型地域スポーツクラブやまびこクラブが実施するイベントやスポーツ交流会また会員制スポーツ教室への参加促進）</p>		
前年度の課題への対応	<p>総合型地域スポーツクラブでは、高齢者のスポーツの機会を充実するため、教室の内容を見直すとともに、スポーツ推進委員がPRを行った。</p> <p>また、社会福祉法人 つばさ福祉会 希望の里つばさにおいて、ニュースポーツの体験を実施したほか、ハンデサポートおかや主催の「文化のつどい」にも参加し、障がい者のスポーツニーズの把握に努めた。</p> <p>さらには、ニュースポーツの普及促進に努めた。</p>		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	スポーツ推進委員数			単位	人
実績値	13	13	13		
*指標の説明	スポーツ推進委員定数				
② 成果指標（指標名）	スポーツ推進委員活動延べ人数			単位	人
目標値	340	340	299	290	
実績値	276	229	290		
達成度	81.2%	67.4%	97.0%		
*指標の説明					
*目標値の設定方法の説明	過去三年間における実績の最大値				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	890,537	850,129	844,024	911,000
経常経費	851,537	850,129	805,024	911,000
臨時的経費	39,000		39,000	
* 臨時的経費の説明	スポーツ推進委員被服貸与			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
正規職員の人数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50
③ 合計コスト(①+②)	4,890,537	4,850,129	4,844,024	4,911,000
前年度比		99.2%	99.9%	101.4%
財源	4,890,537	4,850,129	4,844,024	4,911,000
一般財源				
内訳	0	0	0	0
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	373,195	373,087	369,617	
前年度比		100.0%	99.1%	
⑤ コストに関する補足説明	スポーツ推進委員1名が年度中、家事都合により退職。			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
諏訪地方スポーツ推進委員連絡協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	46,800	46,800	46,800	46,800
諏訪地方スポーツ推進委員スポーツ大会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	3,000	3,000	3,000	3,000
長野県スポーツ推進委員研究協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	33,000	33,000	25,000	32,500
関東スポーツ推進委員研究大会負担金	件数				1
	金額				6,000
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	82,800	82,800	74,800	88,300
	割合	9.30%	9.74%	8.86%	9.69%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	126.6%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	97.0%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	市民1人1スポーツの実現に向け、高齢者のスポーツの機会の充実や障がい者のスポーツの推進が課題である。 また、限られた予算のなかで効果のある事業を実施しなければならない。	
改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	総合型地域スポーツクラブやまびこクラブの高齢者向けスポーツ教室についてPRに努め、高齢者の健康づくり・生きがいづくりを推進するとともに、引き続き障がい者のスポーツニーズの把握に努める。 また、事業の内容等を委員会のなかで調査研究する。	
	改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---